

瀬戸内での「モバ（藻場）ーランド構想」を目指した取り組み

LS四国登録年度：2022年度～

■基本情報

支店所在地	香川県高松市鍛冶屋町7-6
事業概要	ツーリズム事業・エリアソリューション事業・ビジネスソリューション事業・グローバル領域 等

■SDGsの取組・目標

14. 「海の豊かさを守ろう」

・藻場・干潟等の保全・再生の促進
 海洋・沿岸生態系保全の障害である「藻を食べ、藻場を減らしてしまう魚（アイゴ等）」を食品として活用することで、藻場を守り、環境保全へつなげる。
 ・未利用魚の再利用で食品ロスを削減
 アイゴなどの未利用魚を高松中央卸売市場で新たな食材として消費することで、海藻の生態系を改善しながら「ブルーカーボン・クレジット」を推進、食品ロスを削減していく。
 ・脱炭素社会の実現に向けて
 高松中央卸売市場/地元の漁業組合等らと共創し、脱炭素社会の実現に向けて、CO2を「減らす」「出さない」コミュニティの先進モデルを実現する。

★こんなパートナーを探しています!

- ・藻場づくりへの協業企業
- ・藻場等、海洋関連の専門家・研究者
- ・その他連携可能な企業・団体



■地域のステークホルダーとの連携

2023年度中の店舗開業!

「サステナブルたこ焼き」の店舗展開を起点に、瀬戸内の島々への地域活性化実現に向けて

環境保全に重要な藻場を脅かす存在である「アイゴ」。ひれに毒があり、処理が面倒なため食卓に並ばない未利用魚・アイゴを使用した食品を商品化、高松中央卸売市場内（うみまち商店街）で「サステナブルたこ焼き」として販売することで、環境保全・食品ロスへ繋げ、ブルーカーボンを促進。高松中央卸売市場・地元の漁業組合等らとの協業を行う。さらに、高松中央卸売市場を“島旅への発着拠点”として、チャータ船の利用が可能な「棧橋」の設置・ツーリズムの発信拠点となる「サステナブルラウンジ」を設置することで、瀬戸内の島々との連携を高め、地域活性を目指し協議、活動を続けている。

店舗では、高松中央卸売市場/地元の漁業組合等らと共創・海藻の専門家らとの連携で、瀬戸内海に適した藻場再生のノウハウを研究する等、様々な取り組みを行うと共に、地域企業との協業で、瀬戸内海の島々を舞台としたサステナブルツーリズムの実現に向けた学習プログラムを開発・発信する場としても活用予定。



■連絡先

担当窓口：株式会社JTB高松支店 山田 TEL：087-822-0033 E-Mail：y_yamada100@jtb.com URL<https://branch.jtbbwt.com/j6521-0>